淑　徳　大　学　広　報　誌

Together

2014 Autumn | http://www.shukutoku.ac.jp

SHUKUTOKU

Cover Person
佐藤 鮎香さん
看護学科4年

特集 淑徳女子トーク

こんな女性をめざしたい

学長メッセージ
異なる存在を尊重し合い、高め合う

ともいきのこころ
学祖がめざした女子教育

淑徳人
特別養護老人ホーム
森城（むいぐすく）施設長　宜野座 哲さん

淑徳調査団
ドリームナイト・アット・ザ・ズー

NEWS CLIP

知識モリモリ×栄養モリモリ「うま味障害を予防し、食事を楽しめる体調を維持する」

203
2014.10.1

優勝！
第84回 全日本大学総合卓球選手権大会
（団体の部）

7月3日～6日、墨田区総合体育館において第84回 全日本大学総合卓球選手権大会（団体の部）が開催されました。

埼玉キャンパス女子卓球部が出場し、決勝では東京富士大学に競り勝ち、2年連続11回目の優勝を収めました。なお、殊勲賞に丹羽美里さん（文化コミュニケーション学科3年生）が選ばれました。これからも女子卓球部への熱い応援をよろしくお願いいたします。

2020年
東京オリンピック・パラリンピック競技大会大学連携協定締結式に参加

6月23日に早稲田大学大隈記念講堂において、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会大学連携協定締結式・記念シンポジウム」が開催されました。これは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と全国の大学が連携し、それぞれの資源を活用してオリンピック教育の推進や大会機運の醸成等の取り組みを進めることを目的としたもので、本学を含む全国の大学・短大552校が連携協定を締結。

本学でも2020年東京オリンピック・パラリンピックの成功に向けて、様々な分野で連携・協力を行ってまいります。

2014夏　淑徳大学地域支援ボランティアセンター活動報告❶
第4回 学習支援ボランティア（8月3日～8日）

石巻市立大須小学校・大須中学校での学習支援ボランティアは今年で4回目を迎え、総合福祉学部・看護栄養学部・教育学部・経営学部・人文学部から5名の学生が参加しました。

参加学生の目的は様々ですが、小学生5名、中学生7名への学習支援を通して、児童・生徒に教えることで学生自身も教えることの難しさを実感した6日間でもありました。

被災地における復興の現状を目の当たりにして学生は大きく成長し、学部の壁を越え『淑徳大生』としての絆も深まりました。最終日には「また来るね」と約束し、雄勝を後にしました。

この間、社会福祉士・介護支援専門員として活躍されている総合福祉学部17期卒業生の髙橋恵美さん（社会福祉法人旭寿会ケアサポートセンター）より当時のお話を伺ったり、震災前から継続して行っていた『雄勝湾灯篭流し』の灯篭づくりをお手伝いし、改めて被災地の復興を願いました。

▲ 髙橋恵美さん（前列中央）と引率した総合福祉学部 山口光治教授（後列右）、参加学生の皆さん

2014夏　淑徳大学地域支援ボランティアセンター活動報告❷
第5回 パネルシアターキャラバン（9月1日～3日）

千葉・東京・埼玉キャンパス合同で13名の学生が石巻の保育所（3か所）やデイケアセンターでパネルシアター公演を行ってきました。「笑顔を届けたい！」と震災半年後の2011年9月11日を皮切りにパネルシアターキャラバンとして始まった活動で、今回で5回目となります。

こども達やお年寄りのたくさんの笑顔に出会い、笑顔を届けるだけでなく学生達も元気や自信をもらいました。他キャンパスの学生と交流し、特に今年はパネルシアター創始者古宇田亮順氏も同行し、有意義な時間を過ごしました。

被災した地域を視察し、新聞やニュースでは伝わらない被災地の復興の現状について衝撃を感じ、これからも支援し続けたいと決意を新たにしました。

Cover Person

表紙の人……

佐藤 鮎香 さん

看護栄養学部　看護学科 4 年生

同じ看護学科に在籍する妹 柚華さん（左）と

「母のような看護師になりたい」と看護師を目指して地元の秋田を離れ、本学で看護を学んでいる佐藤鮎香さん（看護学科4年）。4年間の授業と実習では、看護の専門的な知識や技術だけでなく、患者さんやその家族がもつことばに表されない思いに気づくことも看護には重要であることを学びました。また、実習を通して、患者さんの気持ちに寄り添う看護を大切にしたいという思いを強く持つようになりました。

「実習はとても大変でしたが、様々な経験をしたり、現場で活躍する看護師の姿を見たりすることで、憧れだけの看護師ではなく、目指す看護師像が具体的になってきました」と語っていました。現在は妹の柚華さんも看護学科1年次に在籍し、姉妹共に本学で学んでいます。

一季一言

異なる存在を尊重し合い、高め合う

学長　足立 叡（あきら）

母国、母校という言葉があります。母、女性という言葉には命を生み、それを育む包容力や温かさを感じます。

学祖が着眼したのもこうした女性の持つ力でした。社会を改善するためには、子育てで大切な役割を担う女子の教育が欠かせないと考えたのです。本学の教育は、女性の力を積極的に評価し、これを社会に活かしていくことを伝統的にめざしてきました。

社会福祉や看護、教育や保育などの現場で、感情豊かで細やかな女性の特徴は、確かに大きな強みとなるでしょう。しかし、そのことは一般的に言われる男女の性質の違いという意味ではありません。本学の教育において、性別の差を意識して学生にかかわることもありません。

性別による違いのとらえ方は人によりさまざまでしょう。私たちがめざしてきたのは、異なる存在を尊重し、認め合うことです。仮に男性の特徴を強さ、女性の特徴を優しさとするならば、これらが共にあることによって、より良い社会になります。つまり、別々の存在ではなく、男性女性のそれぞれの持てる力は、互いの関係性の中において発揮されていくものです。

女性の社会進出、自立ということが盛んに注目されていますが、これについても同様のことが言えます。単に職業的な自立に偏って認識されているのではないでしょうか。自立とは他者との関わりの中において自分を活かすということです。他者の支えなく生きるということではありません。生かされていることの自覚、支えられていることへの気づきがあり、そのことによって他者のさまざまな感情や価値観を受けとめ、つながりの中で自分を活かしていくことが、真の自立であり、共生になるのです。

当然、女性だけの自立ということはあり得ません。男性だけが社会をリードすればいいということもありません。男女の優劣を議論するものでもないでしょう。それぞれの持てる力をともに学び合い、高め合う、そんなキャンパスであり、社会でありたいと思います。

特集

こんな女性をめざしたい

淑徳女子トーク
Shukutoku Girls Talk

本学の母体である大乗淑徳学園は、伝統的に女子教育に力を入れてきました。学祖の理想を受け継ぎ、福祉や教育、行政やビジネスの分野で多くのOGが活躍しています。これからも女性がますます活躍し、それによって男性も刺激を受け、共に高め合っていくようなキャンパスでありたいと思います。東京キャンパスに、各学部1年生の女子の代表に集まってもらい、話を聞きました。

進行：米村 美奈 教授
(総合福祉学部)

淑徳大学出身。ゼミやサークルの仲間に会える大学が大好きだったという。モットーは、一度やると決めたことは、どんなことでも最後まで全力で取り組む。

淑徳の“つながり“に加わって

米村　今日は「選ばれた女子」(笑)として皆さんにお集まりいただきました。私も淑徳大学の卒業生です。よろしくお願いします。

皆さんにあらためてお話ししておきたいのは、淑徳学園が女子教育にとても力を入れてきた学校であることです。「淑徳」の校名には「心穏やかに慎みをもって相手を敬う人」になってほしいという意味が込められています。学祖・長谷川良信先生がマハヤナ学園を設立し、それが巣鴨女子商業や淑徳中学校・高等学校等へと展開していくわけですが、そこにはより豊かな社会を築くためには女子教育が重要であるという学祖の信念がありました。大学を設立する際にも、女子か共学にするか、とても迷ったと言います。その結果、社会福祉のリーダーを男女の別なく養成したいと考え、共学になりました。こうしたDNAを受け継いでいることをぜひ知っておいてください。

さて、4月に入学して、皆さんは淑徳大学にどのような印象を持ちましたか？

福嶋　歴史の長さを実感しました。ただ年月が続いているだけでなく、共生の理念が受け継がれていて、社会から認められ続けていることがすごいと思います。

米村　皆さんも“つながり“の一人になったわけですね。どうして淑徳大学を選んだのか教えていただけますか？

滝　私は将来、人と接する仕事、なかでも観光に携わる仕事がしたいと思っていました。他大学も見学しましたが、淑徳大学を選んだのは観光について幅広く学ぶことができるカリキュラムで自分に合った仕事が見つけられると思ったからです。キャンパスや先輩の雰囲気、校風もすごく気に入りました。淑徳という名前から堅い印象を持っていましたが、とても明るくて自分に合っていると感じました。勉強も大学生活もこれからさらに楽しみたいと思っています。

井上　私は保育士が目標です。子どもや保護者といっしょに成長していけるような保育士になりたいと思っています。淑徳の「共生」の考え方に共感し、自分のめざす理想が実現できると考え、入学を決めました。

米村　井上さんは「共生」をどのように考えていますか？

井上　「彼のためではなく、彼とともに」という言葉が印象に残りました。もう大学生ですから自分の力で成長していかなければいけないことはもちろんですが、子どもと一緒に遊んだり考えたりしながら成長していけたら素晴しいと思っています。

福嶋　学祖の言葉は、誰でも分け隔てなくすべてを愛するということだと思っています。仲の良い人もそうでない人もいるし、実際にはなかなかできないことですよね。でも、ともにあるということを意識するのはすごく大事なことだと、この言葉に惹かれました。

米村　福嶋さんはなにをめざして淑徳大学に入学したのですか？

福嶋　私は声優をめざしています。人文学部表現学科ができることを知り、ここだと思って入学しました。声優になるためには専門学校で学ぶ方法もあります。でも、淑徳大学で学ぶことによって、人間性や教養をもっと広げることができると思いました。おこがましいですが、誰かの夢や目標になれるような声優になりたいです。そのためには、いろいろなことに挑戦して人間的に成長していきたいと

思っていますし、それができる環境が淑徳大学でした。入学式で仏教のお話を聞いたときは正直少しびっくりしましたけれど（笑）、こういう学校に通っているんだと、個性をしっかり主張できるのはとても誇らしいと思います。

厳しさのなかにも、優しさや信念のある女性

米村　宗教についてはいろいろな感じ方があると思いますが、仏教で言えば菩薩のような存在に近づけるように勉強していって、社会の役に立ってほしいと学祖がおっしゃりたかったのだと思います。自分のためだけでなく、彼のためにという考え方です。ですから、希望する職業に就くための勉強はもちろんですが、社会とのつながりのなかで自分を活かすための学び「実学」を重視しています。

女子教育を自らの使命の一つに掲げ信念を貫いた学祖や創立者の方々は素晴らしいですし、私もこうした環境で学べて本当に良かったと思っています。皆さんはどういう女性になりたいとか、どういうふうに生きていきたいとか、理想や目標とするような人のイメージはありますか？

岡島　私は自分の軸を持って、ブレないで行動できるようなナースになりたいです。患者さんがどんな状況でも冷静に対処できれば信頼を得られると思います。高校のバレー部の監督は、ピンチになっても、焦ったり泣き出したりする生徒がいても、絶対にベンチから立たない人でした。だからこそみんながついていくことができました。そういう頼りになる、強くて格好いい女性になりたいです。

赤谷　高校の担任の先生が憧れです。学年で唯一の女性の担任で、ほかのクラスの女子からもお母さん的存在として慕われていました。分け隔てなく我が子のように接してくださり、離任式ではクラスを問わず女子が集まって写真を撮りました。親しみを込めて下の名前やあだ名で呼んでくださる一方で、叱るときは叱り、しっかり受け止めて話を聞く。公平に、一人ひとりを人として尊重してくださったからこそ、なんでも相談できたのだと思います。いまでもメールのやりとりをしています。

林田　優しさだけでなく、ダメなときはダメと叱ってくれるような人は素敵だと思います。私の場合は高校の図書室の先生です。毎日のように通って仲良くなって、いろいろと相談にのっていただきました。なにを話してもしっかり聞いて、注意すべきことははっきりと指摘してくださいます。信頼できましたし、すごく感謝しています。

米村　生徒が先生を信頼するということは、逆に言えば先生も生徒のことを信頼しているからこそ、そのような関係が生まれるのでしょう。生徒のことを信頼していなければ厳しいことも言えないと思います。信頼感や安心感は、言葉だけでなく、態度や話し方など、日々のさまざまなやりとりのなかからお互いが感じていくものです。どんなときも変わらず接して、受け止めてくださる先生は素晴らしいですね。

林田　実は、淑徳大学に決めたのも、その図書室の先生のアドバイスなんです。子どもに関わる仕事がしたいと思って相談したら、淑徳大学が福祉に力を入れていることを教えてくださり、迷わず決めました。

滝　私の理想の女性は母です。経済的にも精神的にも支えてくれて、それだけですごいことだと思っています。自分の仕事にもしっかりと取り組んでいて、商品開発の企画なども任されています。自分の考えを持っていてイキイキとしているところが格好良いです。自分よりも家族やほかの人のことを考えていて、たまに心配になることがあります。

井上　私は私立の女子高で3年間クラス替えがありませんでした。担任の先生も同じです。最初は厳しくてちょっととっつきにくいと思ったこともありましたが、卒業する際に「1年生のときから成長したね」と言ってくださり、よく見ていてくれたんだと嬉しくなりました。「結構いい先生だったね」とみんなと話しています。

米村　どんな先生だったのですか？

井上　自分の軸がありとてもさっぱりとした印象でした。「彼氏と友達の約束が重なったら彼氏を優先しなさい」というような話をしてくださったことがあり、初めは意味がわ

自分の軸を持って、
ブレずに行動できるような
ナースになりたい
——岡島

ボランティアを通して
たくさんのことを学びたい
——赤谷

子どもに関わる仕事がしたい
——林田

声優になる夢を貫き通したい
——福嶋

みんなから信頼される
保育士になりたい
——井上

たくさんの人と
コミュニケーションをとれる
観光の仕事につきたい
——滝

この日、座談会に参加した6人は全員が初対面。初めは少し緊張した面持ちでしたが、理想の女性像を語り合ううちに、自然と笑顔に。自分の理想を口に出すことで、目標がより明確になったそうです。

からないと思って聞いていましたが、「彼氏のほうの約束を選んで友達から嫌われたら、そこまでの友情だったんじゃない」と言われて思わず納得してしまいました。生徒がいさかいを起こしていても、まずは見守っていて、本当に困ったら助けてくださいます。行動や生徒との接し方に自分の考えがしっかりとあって頼もしい先生でした。

いまの学び、経験に全力を尽くす

米村　皆さんの目標や理想の女性像について聞いてきました。では、それを実現するために大学生活をどのように過ごしていきたいかを教えてください。

井上　私は子どもや保護者はもちろんのこと、ほかの先生や近所の人たちからも信頼される保育士になりたいと思っています。そのためには、子どもたちをこういうふうに育てたいとか、自分の意見をしっかりと持てるようになること、異なる人の意見もきちんと受け止められるようになることが大切です。たくさんの人と関わり、いろいろな話を聞いて、自分の軸を明らかにしていきたいと思います。

福嶋　私も経験を積むことが大事だと思います。辛いことや苦しいことも経験した上で、こういうときにはこうすればいいと判断できるようになるのではないでしょうか。人の上に立ってリードするような、強くて芯がしっかりしている女性に憧れます。テレビドラマの「花子とアン」を母と見ていて、なにかの第一人者になる女性はすごいと思いました。私はまだ自信がなくて自分の考えもフラフラしていますが、声優という夢を決めたからには貫き通したいと思っています。

岡島　自分に自信がないとブレない人にはなれませんよね。今できることは大学での学びですから、授業や実習、サークルやアルバイトにも全力で取り組んでいきたいです。看護師になることも、淑徳に入学することも自分で決めたことですから、責任を果たしていきたいと思います。

赤谷　先日、千葉キャンパス近隣の白旗商店街でのボランティア活動に参加しました。お年寄りに懐かしい写真を持ってきていただき、昔話を聞く企画です。コミュニティ政策学部のサービスラーニングがとても良い経験になっていると思います。教えられたり感謝されたり、人との関わり方や相手の立場を考えることを実体験を通して学んでいます。

林田　自分の言いたいことをしっかり伝えることができるようになりたいです。言いにくいことであっても、相手のことを考えると伝えなければいけないこともあります。失敗することもあるかもしれませんが、勇気をもっていろいろなことに向き合っていきたいと思います。

滝　観光業をめざす上で、たくさんの人とコミュニケーションをとって、考え方や視野を広げたいです。接客業のアルバイトでは世代の違うスタッフと接して、「こういう考え方もあるのか」と気づかされ、勉強になっています。母もよく「いろいろな意見を取り入れたほうが幅が広がるんじゃない」と言っていますし、そうすれば本当に自分に合っている将来も見つかるような気がします。母のように、愛情があって、誰とでもコミュニケーションがとれ、自分の意思をしっかり持っている女性になりたいと思います。

米村　皆さんのイキイキとしたお話を聞いて、淑徳大学の教員であり先輩でもある私もとても頼もしく思いました。

　これまで以上に、大学での学びでは関わる人々の範囲が広がります。年代もそうですし、考え方や価値観が違う人ともたくさん出会っていくことでしょう。そうしたなかで、自分の軸を持ちつつ、誰とでも分け隔てなく接し、相手の立場を考えて自分の意見を言えるような、本当の意味で人や社会と〝つながる〟ことのできる人をめざしてほしいと思います。そうした女性は必ず輝くことができるはずです。今日はありがとうございました。

Profiles

1.出身校　**2.**長所　**3.**周りから見た私
4.将来の希望　**5.**憧れの女性

総合福祉学部1年　林田 萌奈

1.千葉県立京葉高等学校
2.ポジティブ、明るいこと、元気なこと
3.お母さんみたいな人
4.児童養護施設で働くこと
5.厳しさのなかにも優しさのある女性

コミュニティ政策学部1年　赤谷 友紀乃

1.千葉県立銚子商業高等学校
2.困っている人を助けずにはいられない
3.いい人過ぎる
4.公務員
5.誰とでも平等に接することができる女性

看護栄養学部1年　岡島 杏

1.千葉県立成田国際高等学校
2.いまの自分に満足せず向上心を持っている
3.がんばり屋さん
4.看護師
5.自分の軸がブレない女性

経営学部1年　滝 ゆう

1.茨城県立総和高等学校
2.誰とでも気軽に話すことができる
3.お笑い芸人みたい
4.観光の仕事
5.コミュニケーション力や行動力のある女性

教育学部1年　井上 美鶴

1.埼玉県私立秋草学園高等学校
2.明るい思ったことを言える
3.自分を持っている人
4.保育士
5.自分の考えを持っている女性

人文学部1年　福嶋 杏香

1.茨城県私立つくば秀英高等学校
2.面倒見がいい、弱音を吐かない
3.お姉ちゃんにしたい
4.声優
5.自分に自信を持っている女性

学祖がめざした女子教育

女子教育は、学祖・長谷川良信先生が力を注いできた教育の柱の一つです。その歴史や思想を辿ってみましょう。

◀1931（昭和6）年、巣鴨女子商業学校の開校まもない頃の集合写真。前列中央が学祖長谷川先生、その左側が渡辺海旭校長。

学祖の教育事業の源流

学祖は1918（大正7）年28歳のとき、宗教大学社会事業研究室の実地調査部の名において、東京西巣鴨のスラム街、通称二百軒長屋に単身で移住します。ここで、年少労働者などの不就学児童を対象に読み書き、算盤などを教える夜間学校を開いたことが、学祖の教育事業の源流と言えるでしょう。六畳一間に24、25人が集まり、評判となって生徒がどんどん増えていきました。

その後、組織的な事業の必要性を感じ、1919（大正8）年のマハヤナ学園の創立に至ります。「マハヤナ」とはサンスクリット語で「人びとを理想郷に運ぶ大きな乗り物」を意味し、仏教的に見ると大乗仏教の「大乗」にあたります。学祖のめざす貧民救済の拠点としてふさわしい名称であり、恩師である渡辺海旭先生により命名されました。困難を乗り越え竣工した建物は、1階は昼間は保育所、夜は夜学用の教室となり、2階は昼間はお茶・お花・裁縫などの講習、夜は職員の寝室として使われました。このことからも、社会改善のための実用的な教育が指向されていたことがうかがえます。

ドイツへの留学で女子社会事業学校を視察

学祖は浄土宗の海外留学生に選ばれ、1922～23（大正11～12）年に欧米へ留学します。このとき、当時の約40ある社会事業学校の中でもトップクラスであったベルリン女子社会事業学校に入学し約10ヶ月学びました。ちなみに、同学校が男子学生を受け入れた最初の年で、学祖はその一期生ということになります。

この留学で得たことは、終生の財産になったと学祖は述べています。社会事業の方向性について示唆を得たことはもちろん、女子教育の展開にも大きな影響を与えています。

在外中、社会改善の為には救貧的事業よりも防貧教化、教育事業こそ一層重要なるを認識し、殊に学園事業の体験より、女子教育こそ理想社会実現の要諦なると痛感し、大正13年大乗女子学院を開創し、爾来社会事業と共に教育事業に努力する。（「我が経歴及思想」）

この文章は後年に書かれたものですが、学祖は二百軒長屋でのセツルメント活動の経験を通して、母親の受けた教育水準が家庭に及ぼす影響について実感していました。だからこそ教育、特に婦女子の教育の必要性は誰よりも認識していたのでしょう。そして、欧米留学中に知った欧米婦人の教養の高さ、それを支える女子教育の充実ぶり、ここから導き出される結論として、社会事業の一環として教育事業、特に女子教育を重視することは当然のことだったと言えるでしょう。

▲1924（大正13）～1925（大正14）年、大乗女子学院の編み物講習会。

仏教精神に基づく人間形成へ

そして、関東大震災の翌年1924（大正13）年に、マハヤナ学園内に大乗女子学院（夜学）を設立。勤労女性や家庭の婦人を対象に、生活改良や教養を高めることを目的とし、教育内容は技術を身につけるため実務を主体としたものでした。さらに翌1925（大正14）年に、大乗女子学院を巣鴨家政女学校に改組・発展し、女子教育への第一歩を踏み出します。以後、財団法人大乗学園巣鴨女子商業学校、巣鴨女子高等学校、現在の淑徳巣鴨高等学校へと展開しています。

第二次世界大戦も学祖の社会事業と教育事業に影響を与えました。

敗北終戦後、民主主義信条により新日本再建を企図し、国家民族の更生を期する為には女子教育と社会事業とが唯一最善の基盤となることを思い、更に残生を賭し此の両面に最後の奉仕に挺身せん…。（「我が経歴及思想」）

戦争に導いた教育を反省し、だからこそしっかりとした教育を行おう。女子教育も同様で、立派な母親からは立派な子供が育つという信念があり、日本の復興の第一歩として立派な人間を、そのためには女子教育を最初に始めなければならないと考えたのです。その総合的・機能的展開のために、1949（昭和24）年に財団法人 大乗淑徳学園（現・学校法人）に組織変更を行い、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・短期大学、そして本学に至る母体が確立されました。

「後に続く者を育てたい」学祖の教育事業の集大成として、1965（昭和40）年、本学が開学しました。学祖の教育事業は、社会改良の立場から地域福祉活動の一環としての女子教育と、社会福祉事業の専門家を育成するための教育の2つの大きな流れがあると言えます。女子教育は、当初は家事・家政的な経済実務教育を重点としていましたが、さらに仏教的見地からの人間形成へと展開していきました。「全人生の信条を仏の智慧と慈悲とにおく総合的な人間形成…近代的日本女性の育成」（『大乗淑徳教本』）を目指すために、幼稚園から大学までの一貫教育を実現しました。それが、学祖の教育事業の今日の姿です。

智慧、慈悲、そして共生きの精神は、当然のことながら、性別や専攻する学問の別を問わず共通のものです。昨今、女性の活躍が期待されていますが、単に経済的貢献ばかりでなく、多様な人々が認め合い、支え合う社会が理想です。自分を活かしより良く生きるための学びを実践し、豊かな未来づくりのために貢献していきたいものです。

淑徳人

GINOZA Satoshi

宜野座 哲さん

特別養護老人ホーム「森城（むいぐすく）」 施設長

福祉の現場では人間としての力が試される

「ありがとう」という一言のために

福祉の現場で日々奮闘する宜野座哲さん。高校卒業後の生活、そして大学での4年間が今の宜野座さんの人間としての力を育みました。今、施設の長として、スタッフと力を合わせ、地域とともに歩もうとしている宜野座さんに、自分を育んできた人や事柄、これからの施設経営のビジョンや福祉の在り方について聞いてみました。

沖縄県生まれ。2010年、総合福祉学部卒業。在学中は、スウェーデンやイギリスを歴訪し、また、天津大学夏期語学研修やブラジル派遣研修にも参加した。現在は、沖縄市で特別養護老人ホーム「森城（むいぐすく）」の施設長を務める。

宜野座さんは沖縄の高校を卒業後、一度は医学部を目指しましたが、改めて淑徳大学に入学。「父と同じ医師を志すか迷い、自分が本当にやりたいことは何なのかを探し続けました。その答えとして、医師の道ではなく福祉で生きることを決意し、福祉分野では歴史が長く実績のある淑徳大学に入学しました」。

入学後の宜野座さんは、本学の海外研修プログラムに参加したほか、ヨーロッパ・アジアの各国を旅行し、水を得た魚のように大学生活を満喫しました。これら多くの国々への訪問によって、「各国の福祉の現状や歴史、物事のとらえ方の違いを学ぶことができた」といいます。

2012年4月、沖縄県沖縄市に特別養護老人ホーム「森城（むいぐすく）」が開所し、宜野座さんは初代の施設長に就任しました。

まだ社会経験の浅かった宜野座さんは、とにかく必死だったといいます。「森城建設会議や認可取得、県の監査も経験しました。また掃除などのスタッフが嫌がることも率先してやってきました」と言葉を噛み締めながら当時を振り返りました。「人の嫌がることを進んでやるのが上に立つ者」という父の教えをその時になって初めて身に染みて実感しました。

「一生懸命に勉強するもよし、遊ぶもよし、少々痛い目に会うのもまたよし、全ては自己責任。とにかく何にでもチャレンジしてみることが大切だと思います。福祉の仕事は、最後には現場で人間としての力が試されますから」。

宜野座さんの「森城（むいぐすく）」に対する思いの行き着く先は、中国天津大学キャンパスの地域一体化にヒントが得られた「地域を支え、地域が支える地域密着型」の施設運営です。「入所している高齢者が子どもや若者とともに過ごせる、地域に溶け込む自然なホーム、そして地域全体で介護できるような環境を作りたいのです」。

そして最後に「家族や親戚そして知人などの関わりの中で〝看取り〟ができ、その方が生きてきた歴史や背景の中で私たちの仕事が成り立っているのだと思います。

病院とは異なるホームならではのケアによる成果に対しての〝ありがとう〟という一言がすべてですね」と目を輝かせながら語ってくれました。

宜野座さんは、「ありがとう」という一言のために、スタッフの先頭に立って今日も、そして明日も働き続けます。

photo

ベトナムの路上にて
12歳ほどのバラ売りの少女が、生活費を稼ぐために夜も働くといいます。バラが売れるまでは帰れないとのことでした。瞳が澄んだ少女の笑顔が今でも忘れられません。

2007年天津大学語学研修
仲間たちと京劇メーク体験。後列真ん中は三国志劉備役の宜野座さん。

特別養護老人ホーム森城（緑）と併設する有料老人ホーム竹園（青）の職員です。宜野座さんは竹園の管理もしていらっしゃいます。
この2つの施設名は地域の拝所からいただきました。

Basketball

バスケットボール部

CHIBA Campus

- 代表者：押川 美寿々（教育福祉学科3年）
- 創　部：1984年
- 部員数：18名(男子9名 女子9名)
- 活動日：月･木･土曜日
- 部　室：11号館3階15

私たちバスケットボール部は、週3日アリーナ（2号館）で活動しています。春と夏には合宿へ行き仲間と過ごすことで、チームワークを高めつつ公式戦での勝利に向けて練習に励んでいます。男女ともに人数が多くはありませんが、チーム内で意見を言い合い、技術の向上に努めています。

女子の方は先日6月22日～7月6日に行われた千葉県女子学生バスケットボール大会春季リーグ戦でBリーグ優勝を果たすことができました。この大会での反省を活かし、これからの大会に向けて男女共に、OB・OGの方や周りの人への感謝の気持ちを忘れずに、全員が楽しく笑顔でバスケットボールができるよう、全力で取り組んで行きたいと思います。メンバー募集中です！興味のある方は是非アリーナや部室へ来てください。お待ちしています。

Creation

創作部CRAZY5

SAITAMA Campus

- 代表者：涌井 菜朋(文化コミュニケーション学科3年)
- 創　部：1996年
- 部員数：11名(男子2名 女子9名)
- 活動日：不定期
- 部　室：部室棟301

こんにちは、創作部CRAZY5です！このサークルの活動は、ずばり「創作活動」です。イラストを描いたり、小説を書いたり……と、活動日は不定期ですが、お茶会気分でわいわい活動しています。また、作品をまとめて部誌の発行や図書館で展示をしたり、各々のスキルアップを図る講習会なども行っています。

そんな創作部、実は今年で創設19年目。そして、19年目にしてやっと準認定団体になりました！補助金が出るようになりましたので、10月の淑徳祭は昨年度よりもスケールアップしたいと考えています。今年度の創作部のテーマは「和」。「和」をテーマにした部誌の配布や、ラミネートカードの販売を行います。ぜひ、10／25、26は淑徳祭創作部スペースまで！

なお、現在、創作部では部員を募集しています。サークルのHP（http://www4.hp-ez.com/hp/sousakubucrazy5）もありますので、よろしければご覧ください。皆さんのアクセス、そして部室訪問を心よりお待ちしています。

Free

HEART（サークル）

TOKYO Campus

- 代表者：根津 瞳（表現学科1年）
- 創　部：2014年
- 部員数：16名(男子4名 女子12名)
- 活動日：木曜日
- 部　室：4Fフリースペース、スタジオ

このサークルは何にでも挑戦するサークルです。最近は学生目線で描いた大学PVを作りました。また今後は福島ボランティアに行ったり、板橋区の農業祭でブースを出したり、番組を作ったりやることが盛りだくさんです。

サークルの雰囲気は、部員が集まると話し合いで意見を出し、PV撮影に協力するなど「○○をやろう」と言うと「よし、やろう！」という返事がすぐ返ってきます。個性豊かで、明るくまとまりのある、今までにないおもしろいサークルです!!そして、淑徳大学に今までなかった新しい最高のサークルになる為に、「人との関わりを大切にし、やりたいと思ったことは挑戦する」ことが今の目標です。

最後に“HEART”には1つひとつ意味がきちんと込められています。活動してどんどん名前を広げたいです。これからの“HEART サークル”に期待あれ!!

今回のテーマは ドリームナイト・アット・ザ・ズー で徹底リサーチ！

「淑徳調査団」は、淑徳大学にまつわるギモンや面白そうなことを毎回メンバーがリサーチしていく企画です。

今回は、特別支援教育を学ぶ学生たちを中心として、障がいのある子どもたちとその家族を動物公園に招待する「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」（8月25日千葉市動物公園共催）についてです。

取材・調査に際しては、大学情報誌制作を目的として創部された新サークルLien編集部が取り組みました。

Data 1

ドリームナイト･アット･ザ･ズーの主催者インタビュー

▲石田 戢（おさむ）園長（写真中央）と淑徳大ボランティア参加者たち

――なぜ開催することになったのですか

動物公園という場を活かして、より多くの方に楽しんでもらいたいという気持ちからドリームナイト・アット・ザ・ズーの開催に至りました。2010年から淑徳大と共催して年々応募者が増え、協賛が集まるようになりました。昨年より主催を委員会組織化し、動物公園長が委員長、淑徳大学から加藤哲教育福祉学科長が委員として、また米系大手ジブラルタ生命が協賛企業になり、産官学連携へと成長を遂げています。

――なぜ閉園日に障がい児を対象としたのですか

普段は人が多く、障がいを持っていることにより思う存分楽しむことができない障がい児と家族に、閉園日にゆったりと参加してもらいたいからです。

Data 2

ボランティアに参加した淑徳大生に聞きました

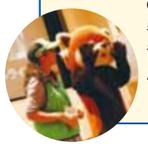
ドリームナイト･アット･ザ･ズー2014に参加して取り組んだこととその感想

その1. 飼育係とともに動物ふれあいサポーター　子ども動物園
ウサギや羊など可愛い小動物を直接に子どもたちへ紹介して楽しかったです。

その2. 風太君の着ぐるみフォトサービス　撮影巡回
着ぐるみ風太君に変身すると“人気者”になりきれました。子どもたちの瞳キラキラ輝いて見えました。

その3. バルーンアート　動物科学館1F展示コーナー広場
動物バルーンアートを作りお客さんに渡しました。犬のバルーンなど喜んでもらえてうれしかったです。沢山の人たちを笑顔にするこのイベントが今後も続いていくことを願っています。

その4. 淑徳大学スペシャルライブ　動物科学館ホール
●パネルシアター　●手話ソング　●金管アンサンブル
手拍子を演奏に合わせてもらい私たち自身も楽しむことができました。音楽の力は障がいを持った人も無い人も惹き付ける力があるのだと思いました。



マメ知識　◎ドリームナイト・アット・ザ・ズーとは？

ドリームナイト・アット・ザ・ズーは、オランダのロッテルダム動物園が1996年に小児がんを患う子どもを閉園後の夜に招待したことが始まりです。現在約37カ国261の動物園が6月初旬を中心に実施しており、千葉市動物公園では、淑徳大学との共催で2010年より8月末の月曜閉園日の午後に開催しています。

Data 3

来園者に直撃取材！

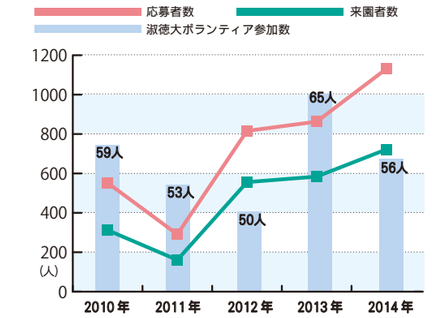
利用者（障がい児とその保護者）にとってのドリームナイト･アット･ザ･ズーとは

- 暑いのを覚悟の上で参加しましたが、動物とのふれあいがゆっくりできてとても良かったです。
- 娘はヤギのエサやりを喜んでいました。レッサーパンダやウサギの着ぐるみに何度も接近していました。良い思い出になったと思います。
- 車イスの子どもの目線ではほとんど見られなかった動物が前に出るように工夫されていて近くで見ることができました。写真をとって下さったり、親切で楽しく過ごせました。

調査

千葉市動物公園と淑徳大学共催のドリームナイト･アット･ザ･ズー 応募者、来園者数の推移

千葉市動物公園提供データより



今年は障がい児とその家族ら1,131名から応募があり、当日の8月25日は722名が訪れました。
本イベントは、8月27日付朝日新聞に掲載されました。

おまけ 感想

調査を終えてみて……

そもそも新サークルLien編集部のLienとは、フランス語で“絆”を意味して「リアン」と発音されます。

大学情報制作法を活動の目的として、社会福祉学科４年生の４人を中心メンバーとして創部したばかりの届出団体（代表：向出唯香さん）です。メンバーの岩瀬昌子さんは、1年生の時からドリームナイト･アット･ザ･ズー動物ふれあいサポーターをしていて、今回は取材の主目的の他に誘導案内係を担う場面もありました。本紙調査団の大役は様々な立場の方々と接する機会となりました。ちょっと緊張ぎみに取材調査に臨みましたが、お客様は楽しそうで、「楽しかった」「ありがとう」と声をかけていただきました。こちらの方が嬉しくて、大変充実した時間を過ごすことができ、とても貴重な経験が得られました。

Lien編集部はメンバー大募集中です。千葉キャンパス11号館2階11部室へ是非来てください。

Thank you!!

協力：Lien編集部
向出 唯香さん（社会福祉学科４年）
上田 一帆さん（社会福祉学科４年）
岩瀬 昌子さん（社会福祉学科４年）
岩井 茜さん　（社会福祉学科４年）

淑徳調査団 募集！

ご応募お待ちしてます

reply@soc.shukutoku.ac.jp

TOKYO Campus

歴史学科における教室外体験学習の試み

人文学部歴史学科の歴史調査法という科目では、歴史的事実を確定するための前提となる史料や参考文献の調べ方を教えます。そのためには、歴史史料が収蔵保管されている現場に足を運ばなくてはならないのです。

そこで担当教員は、板橋区公文書館と東京都埋蔵文化財センターへ学生諸君を連れて行き、ナマの歴史史料である古文書や考古資料である土器などを実際に触らせてもらいました。それらを手にとって調べるときはどのような手続きをとったらよいのか、これについても職員の皆様から直接教えていただくことができました。

演劇発表会

7月22～23日、淑徳大学東京キャンパスの1階スタジオで、望月純吉先生（文学座・演出家）担当の人文学部表現学科1年前期科目「創作表現技法Ⅰ（演劇）」の授業において、表現学科1年生たちが全員参加の演劇発表を行いました。

両日、スタジオはほど良い緊張感に包まれ、実に手際よく手配された出し物が次々と演じられました。創作、名作、独演、グループ演技、二人芝居、童話劇、時代物などなど。3クラス24本の出し物があり、学生からは「この授業の経験を活かして後期の演劇授業をがんばりたい」と満足感でいっぱいになっていました。

学生36人に「Rising Sun」で修了式

本学客員教授のEXILEのパフォーマーTETSUYA先生が人文学部表現学科の現代表現論の前期最後の講義を行いました。講義はダンスを通じた表現方法を教授し、その集大成に学生とEXILEの代表曲「Rising Sun」を踊りました。

講義終了後、「仕事の現場でみんなと出会って、“あの時の生徒です”と言われたい。それが僕が見つけた夢」と教え子の学生に最後のあいさつを行い、学生からも「夢に対する姿勢が変わった」とTETSUYA先生の思いは確実に届いていました。

NHK「首都圏ネットワーク」で経営学部のキャリア教育が紹介されました

7月23日放送のNHK「首都圏ネットワーク」の特集“若者の離職を防げ”の中で、本学経営学部のキャリア教育が紹介されました。

全国で3年以内に離職する大卒者の割合は3割以上。要因は様々ですが、学生自身の「職業観の欠如」も一つの要因として考えられています。

経営学部では、自らのキャリアビジョンを繰り返し明らかにし、高い就業意欲・学習意欲を育成・定着化できるよう、キャリアデザインの授業を1・2年次必修としています。

「ホテル日航東京」と「成田国際空港㈱」を見学

夏休みを利用して観光経営学科1年生17名が8月5日に「ホテル日航東京」（港区台場）を、また22名が8月8日に「成田国際空港㈱」（千葉県成田市）を見学しました。

ほとんどの学生にとって、本格的なシティホテルと国際空港を会社側からの視点で見学するのは初めての体験で、見るもの聞くものが感動的で、新たな発見の連続となりました。

みずほ台まつりに参加

8月30日、西みずほ台商店会とみずほ台1・2・3丁目町内会が共催して第33回みずほ台祭りが開催されました。夏休み最後の土曜日は、近隣のみでなく東武東上線の利用者も途中下車した観光客で大変な賑わいでした。埼玉キャンパスは、みずほ台祭りに協賛し、学生もボランティア活動に参加しました。CFC(学園祭実行委員会）のメンバーは、祭りの準備委員会に参加して企画から後片付けまで、延べ60人が参加しました。また、SMC吹奏楽のメンバーは、駅前広場のイベント会場で演奏しました。

第6回 看護川柳コンテスト　表彰作品発表

第6回看護川柳コンテストが行われました。今年も、たくさんの応募があり、厳正な選考の結果、5作品が入選いたしました。

大賞	優秀賞	佳作	佳作	佳作
オムツより　オツム替えてと　笑う母	ヘルパーが　年上と知り　奮起する	介護され　母は笑顔の　倍返し	抱き起す　母の鼓動が　胸を打ち	介護とは　二人三脚　快互なり
十六夜	土屋裕子	しかおとこ	小田中準一	な～す丸

SAITAMA Campus

≪完全燃笑≫～自分らしく！ありのままで！～ 教育学部1・2年生合同運動会開催 優勝は黄組！

7月12日、埼玉キャンパス体育館において、教育学部1・2年生合同の運動会が開催されました。参加学生180人が1・2年混合の赤・白・黄・青のチームに分かれ、揃いのユニフォームと鉢巻を着用して「障害物リレー・玉入れ・借り人競走・大縄跳び」で競い合いました。競技前の円陣を組んでの掛け声、競技を終えてのハイタッチ、声をからしての応援、合間の歌やダンスなど、笑顔が広がり親睦が深まる大会となりました。

バネルシアターで楽しい教材づくり ～授業「キャリアデザイン」発表会～

教育学部1年生全員が1か月かけて、パネルシアターの制作～発表（テーマは「漢字」）を行いました。「四字熟語」「へん・つくり」「象形文字」「漢字たし算」に分かれ、ストーリー・絵・構成・演出すべてオリジナルでアイディアを出し合い協力しての活動でした。13グループの発表は個性豊かで生き生きと楽しく、教室が笑い声いっぱいになりました。その後、小学校や保育園のボランティアでもこのパネルシアターは大活躍しています。

となって千葉日報に記事を掲載するCHIBA UNIVERSITY PRESSに本学コミュニティ政策学部の斉藤保昭准教授のゼミ生4名が活躍しました（西山勲さん、高橋有実子さん、倉持勇佑さん、中里司さん【3年生】）。6月6日付の取材記事など、その他の新聞記事とあわせてWEBサイトに掲載されています。
http://www.chibanippo.co.jp/cup/

CHIBA2nd Campus

看護体験記において優秀賞に選ばれました

千葉県看護協会の「看護の日」事業で行われている「看護体験記」作品で、看護学科1年の岡島杏さんが「看護師への道」部門で優秀賞に選ばれ、5月17日、アパホテル&リゾート〈東京ベイ幕張〉にて授賞式が行われました。岡島さんは、高校時代の看護体験を通して、患者さんから励ましのことばをいただいたことがきっかけとなり、看護師を目指すようになりました。

夏祭り、花火大会でボランティア

ボランティア講座は今年で2年目を迎え、講座を受講した学生がさまざまな場で活動しています。一部を紹介すると、7月15日、ひまわり幼稚園の夏祭りでは、屋台でかき氷販売の手伝いをして、園児やその家族に喜ばれていました。千葉東病院の花火大会では、重症心身障がい児(者)の介助だけでなく、職員の方々と一緒に着ぐるみを着て踊るなど参加者を楽しませていました。今後もさまざまなボランティアを通じて地域の方々の支援を行っていきます。

「学祖コーナー」が開設されました

千葉第2キャンパス1号館1階キャンパスモールの壁面に「学祖コーナー」が設置されました。埼玉キャンパス、東京キャンパスと同様、学祖の生涯を紹介したパネルや肖像写真などを展示しています。在校生だけでなくオープンキャンパスなどで来校された高校生やご父母にもご覧いただいています。

第40回 生実町花火大会

毎年8月15日に生実池畔で開催されている花火大会は今年で第40回目を数え、3,500発の花火が夜空を彩り約2万人の大勢の人出で賑わい大盛況でした。本学コミュニティ政策学部の磯岡哲也教授ゼミ生による歩行誘導係やボランティアセンター学生有志によるボランティア参加、学生消防隊は制服姿で巡回、防犯ボランティアサークルShukutoku Eagle Eyesも参加協力しました。

生実町プレーパーク（冒険遊び場）がオープン

8月23日、「淑徳大・生実町プレーパーク（冒険遊び場）」がオープンしました。このプレーパークは、地域の子どもたちが大学生と一緒に自然環境の中で冒険遊びを楽しみながら、自ら考え問題解決力を育むことを目的としています。場所は共生苑に隣接した広大な大学敷地。開園式には、学生、子ども、町内会、大学関係者ら41名が集まりました。石井伶奈さん（教育福祉学科1年）の司会で始まり、学生実行委員会を代表して大村康祐さんが開設に至る苦労と歓びを語りました。淑徳大の磯岡哲也学長特別補佐、土井進教授、生実町内会の丸嶋義雄会長、共生苑の林房吉施設長から祝辞が寄せられました。その後、早速プレーパーク探検（榎本尋文さん・髙橋雄大さん）や大根の種まき（中田航平さん）などを楽しみました。これから毎月1回プレーパークを開き、地域交流を深めます。

ソーシャルワーカーの声

社会福祉学科3年濱中裕介さん、2年黒川祐介さん、平澤あゆみさん、1年海老池真央さんと総合福祉学部山下興一郎准教授は、福祉系大学経営者協議会が実施するソーシャルワーカーの声プロジェクトに参加しました。本学は、岩手県を担当し、9月2日～6日の5日間、5名のソーシャルワーカーへのインタビューを実施したほか、応急仮設住宅やサロンの訪問、NPOや福祉施設の視察等に取り組みました。

釜石市社会福祉協議会事務所前にて

千葉日報ユニバーシティプレス

千葉県内の7大学より大学生が新聞記者

ALL Campus

淑徳大学東京キャンパス開設記念 オレンジ世代応援コンサート開催

9月9日、東京芸術劇場にて淑徳大学東京キャンパス開設記念・夕刊フジ創刊45周年として、新日本フィルハーモニー交響楽団（指揮：広上淳一）によるオレンジ世代応援コンサートが開催されました。

オレンジ世代とは、充実感やチャレンジ精神を掻き立てる、暖色のオレンジ色を当てはめて「オレンジ世代」と表現したものです。これから益々充実して円熟期に入る「シニア世代」「シルバー世代」の方々を応援していくものとして、本コンサートも多くの方から支持を受け、盛り上がることができました。

CHIBA Campus

ベトナム人介護福祉士候補者来学

日本とベトナムの経済連携協定EPAに基づく看護師・介護福祉士候補者が初来日し、その内のベトナム人介護福祉士候補者117名が4班に分かれて研修のために来学しました。

6月24日、27日、7月1日、4日に、藤野ゼミ、結城ゼミ、西尾ゼミの3つのゼミ合同で出迎えキャンパスを案内して、日本とベトナムの介護事情はじめ文化や習慣の違いなど話し合い国際交流を深め合いました。

外国語としての日本語を日常会話レベル以上を修得して来日した点が、これまでのインドネシア、フィリピンの候補者とは異なり、8月からはそれぞれの病院や介護施設で働きながら約4年の滞在期間中に介護福祉士の国家試験合格を目指します。

SHUKUTOKU
Together
203
The Shukutoku University Newsletter
発行日：平成26年10月1日
編集：大学広報編集委員会
発行：大学事務局
制作協力：株式会社図書出版

学園祭＆ホームカミングデーのお知らせ

埼玉キャンパス

第19回 淑徳祭

10月25日（土）・26日（日）

テーマ Colorful ～未来を彩る個性～

●ホームカミングデー（懇親パーティー）
10月25日（土）15：00～
内容▶サークル発表、過去のアルバム・写真展示、お楽しみ抽選会、教職員との懇談、懇親会など

千葉キャンパス

第48回 龍澤祭

11月2日（日）・3日（月・祝）

テーマ Enjoy 誰もが笑顔になれる場所

●ホームカミングデー
11月2日（日）12：30～
内容▶オープニングセレモニー、朗読劇「ハッピーバースデー」、懇親会など

東京キャンパス

第51回 淑徳祭 つきかげ祭

11月22日（土）・23日（日）

テーマ For the First Time in Forever ～うまれてはじめて～

※淑徳短期大学部合同開催

卒業生の皆さまへ
ホームカミングデーを学園祭と同日開催いたします。皆様のご出席を心からお待ち致しております。

栄養学科の
知識モリモリ×栄養モリモリ vol.7

今回は桑原 節子 先生に伺いました。

うま味障害を予防し、食事を楽しめる体調を維持する

うま味障害? 聞きなれない言葉ですね。これは味覚障害の一つで、基本味の塩味や甘味、酸味、苦味は認知できるものの、基本味第5味のうま味が分からない又は弱い場合を表現します。私の研究テーマでもある、がん患者の味覚障害においても、うま味障害は多く存在するのですが、今日は若い学生諸子にもこのうま味障害が多いというお話です。

東北大学の笹野教授の研究報告に興味深いものがあります。某大学の学生を対象にした調査では、朝食欠食、外食及び自炊でもバランス不良、学食利用の少ない学生にうま味障害が多く存在することが報告されています。Company（合コン・コンパ）でお酒をよく飲む人にも多いかもしれませんね。それでも、食事改善へのアドバイスを受けてバランス良く食事をすることで回復する学生が多いとのことですので、食事を見直し、和食に欠かせないうま味をしっかりと味わいたいものです。

淑徳大学は栄養学科を有する大学として、すべての学生が食事に関心を持ち、体調管理・疾病予防の食事を身につけ、うま味障害に陥ることなく食事を楽しみ生き生きと過ごしましょう‼

■ 編集後記

今年の4月、淑徳大学に奉職してすぐに学内広報誌Togetherの編集に関わることとなりました。委員会での議論にはまだついていけないことが多いのですが、それでも毎回数時間にわたる会議のなかで、各キャンパスから参加されている委員の皆さんの「熱」のようなものを感じることができます。4つのキャンパスがそれぞれ分散している本学において、こうした広報誌の役割は決して小さくないはずです。在学生はもとより、卒業後の淑徳生がどのような人生の歩みを進めているのかを知ることができるTogetherの誌面をより充実させていきたい。この誌面を読んでいただけた方には、小さな行事や出来事でも結構ですので、委員会まで情報をお寄せいただけたら幸いです。

最後になりますが、本号に御協力いただいたすべての皆さんに深謝致します。（田中）

「淑徳大学広報」に関するご意見、ご感想などのメールをお待ちしております！ reply@soc.shukutoku.ac.jp

■ 千葉キャンパス
総合福祉学部／コミュニティ政策学部
大学院総合福祉研究科
千葉県千葉市中央区大巌寺町200
TEL. 043-265-7331

■ 埼玉キャンパス
国際コミュニケーション学部／経営学部
教育学部
埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
TEL. 049-274-1511

■ 通信教育部
東京都板橋区前野町5-8-7
TEL. 03-5392-5768

■ 千葉第2キャンパス
看護栄養学部
千葉県千葉市中央区仁戸名町673
TEL. 043-305-1881

■ 東京キャンパス
人文学部
淑徳大学短期大学部
東京都板橋区前野町6-36-4
TEL. 03-3966-7631

■ 池袋サテライト・キャンパス
東京都豊島区南池袋1-26-9 MYT第2ビル7F
TEL. 03-5979-7061